

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-108425

(P2003-108425A)

(43)公開日 平成15年4月11日(2003.4.11)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	データベース(参考)
G 0 6 F 12/00	5 4 6	G 0 6 F 12/00	5 4 6 B 5 B 0 7 3
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 F 5 B 0 8 2
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F
	2 4 0		2 4 0 A
	4 1 9		4 1 9 B
<div style="text-align: right;"> 審査請求 未請求 請求項の数17 O L (全 22 頁) 最終頁に続く </div>			

審査請求 未請求 請求項の数17 OL (全 22 頁) 最終頁に続く

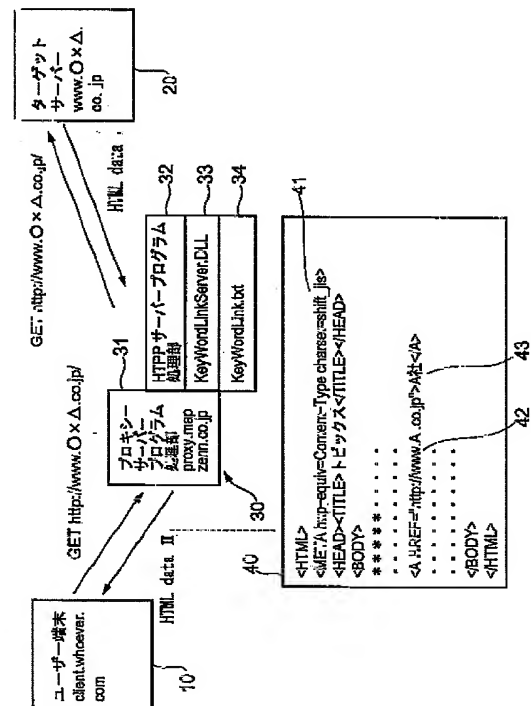
(21)出願番号	特願2001-288113(P2001-288113)	(71)出願人	501372167 キトラ・エルエルシー アメリカ合衆国 10017 ニューヨーク州、 ニューヨーク、スイート 2205、フィフス アヴェニュー 501
(22)出願日	平成13年9月21日(2001.9.21)	(72)発明者	小田野 善一 東京都港区白金1-29-3-501
		(72)発明者	浜飯 千愛 東京都港区南青山4-17-12-304
		(74)代理人	100081411 弁理士 三澤 正義
		Fターム(参考)	5B075 KK07 ND08 ND20 UU13 5B082 HA00 HA08

(54)【発明の名称】 情報処理システム、情報処理方法、広告宣伝方法、公式サイト認証方法、及びプログラムを記録した情報記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、特定の団体組織等の公式サイトを探し出すの困難性を要せず、当該団体組織の地図上の対応該当地なども直ちに閲覧することの可能で、端末に固有のプログラムを組み込むことなく、インターネットにおけるユーザーの端末に対し、全てに同一の利便性を与えることのできる情報処理システムを提供する。

【解決手段】 格納手段は、予め登録されたキーワードと、このキーワード情報に対応するリンク先のURL情報とを格納する。取得手段は、ユーザー端末からのHTTPリクエストに基づいて、ターゲットサーバーのHTML情報ファイルの取得を行なう。リンク化処理手段は、取得されたHTMLファイルの中から、前記格納手段の前記キーワードを検索し、該当する該当キーワードがある場合には、対応する前記URL情報と前記キーワードとをリンク化を行なうタグとともに前記該当キーワードのある箇所に書き込みを行なう。表示処理手段は、リンク化されたHTMLファイルをユーザー端末に対して送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークに配置されたサーバーにより、ユーザー端末のブラウザに表示される第1のデータの中の固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、当該固有データに関連する関連サイトへのリンクを張る処理を行う情報処理システムであって、予め登録された前記固有データと、この固有データに対応する前記関連サイトへのリンク先のURL情報とを格納した格納手段と、前記ユーザー端末からのアクセス要求に基づいて、要求先のサイトの第1のデータの取得を行う取得手段と、取得された前記第1のデータの中から前記格納手段の前記固有データを探し出し、該当する該当固有データがある場合には、対応する前記URL情報に基づいて前記該当固有データに関連する関連サイトへのリンク化処理を行い第2のデータを生成するリンク化処理手段と、前記第2のデータを前記ユーザー端末に表示させる処理を行なう表示処理手段と、を含むことを特徴とする情報処理システム。

【請求項2】 前記格納手段のリンク先のURL情報は、地図情報サイトの前記固有データに対応する対応該当地の周辺領域に相当する下位階層のアドレス情報まで有し、前記表示処理手段は、前記ユーザー端末でのリンク化された前記第2のデータ中の前記固有データに対する操作指示に基づいて、前記ユーザー端末の表示画面上に前記対応該当地の周辺領域の地図情報を表示させることを特徴とする請求項1に記載の情報処理システム。

【請求項3】 前記対応該当地の周辺領域の地図情報上に、前記固有データを意味するアイコン情報を前記対応該当地に相当する位置に表示させるアイコン情報生成手段を有することを特徴とする請求項2に記載の情報処理システム。

【請求項4】 前記表示処理手段は、前記ユーザー端末での前記アイコン情報の操作指示に基づき、前記固有データの関連サイトを前記ユーザー端末に表示させることを特徴とする請求項3に記載の情報処理システム。

【請求項5】 前記ユーザー端末にて利用されるブラウザの設定項目において、プロキシの設定を前記サーバーのIPアドレスとして設定する設定手段を有することを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれか一項に記載の情報処理システム。

【請求項6】 前記第1のデータ中の文字コードを認識するコード認識手段と、前記コード認識手段による認識結果に基づいて、複数種類の文字コードのうち特定の文字コード以外の他の文字コードが形成されている場合には、当該文字コードに変換するコード変換手段を有することを特徴とする請求項1乃至請求項5のいずれか一項に記載の情報処理システム。

【請求項7】 ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び一又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能な第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンクを張る処理を行う情報処理方法であって、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行う取得工程と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンク化処理を行い、第2のデータを前記第1の機器に対して送信するリンク化工程と、を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項8】 前記第1の機器にて利用されるブラウザにおいて、前記第4の機器のIPアドレスをプロキシの設定として設定する工程をさらに有することを特徴とする請求項7に記載の情報処理方法。

【請求項9】 前記リンク先のURL情報は、地図情報サイトの前記固有データに対応する対応該当地の周辺領域に相当する下位階層のアドレス情報まで有し、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第1の機器の表示画面上に前記対応該当地の周辺領域の地図情報を表示させる工程を有することを特徴とする請求項7に記載の情報処理方法。

【請求項10】 前記対応該当地の周辺領域の地図情報上に、前記固有データを意味するアイコン情報を前記対応該当地に相当する位置に表示させる工程を有することを特徴とする請求項9に記載の情報処理方法。

【請求項11】 前記第1のデータ中の文字コードを認識し、複数種類の文字コードのうち特定の文字コード以外の他の文字コードが形成されている場合には、当該文字コードに変換する工程を有することを特徴とする請求項7に記載の情報処理方法。

【請求項12】 前記固有データは、頻繁に検索される語句であることを特徴とする請求項1に記載の情報処理方法。

【請求項13】 ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の

機器及び一又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能な第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンクを張る処理を行う情報処理方法であって、前記第4の機器に対して、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行うようにアクセス要求を送信する工程と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する関連サイトへのリンク化処理を行い、このリンク化処理された第2のデータを、前記第4の機器から受信する工程と、を含むことを特徴とする情報処理方法。

【請求項14】 ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び一又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能であり広告登録者が登録を行なう第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される前記広告登録者に関する固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供する広告登録者のホームページへのリンクを張る広告宣伝方法であって、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行う取得工程と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の広告登録者が提供する前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する前記広告登録者の提供する前記第3の機器のホームページへのリンク化処理を行い、第2のデータを前記第1の機器に対して送信するリンク化工程と、を含むことを特徴とする広告宣伝方法。

【請求項15】 ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び一又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々デー

タ送受信可能であり権利者が登録を行なう第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される前記権利者に関する固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供する権利者の公式ホームページへのリンクを張ることで公式サイトの認証を行なう公式サイト認証方法であって、

前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行う取得工程と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の権利者が提供する前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する前記権利者の提供する前記第3の機器の公式ホームページへのリンク化処理を行い、第2のデータを前記第1の機器に対して送信するリンク化工程と、前記第1の機器からの前記第2のデータのリンク化された前記固有データの操作指示により、地図情報サイトの前記固有データに対応する対応該当地の周辺領域に相当するURL情報に基づいて、前記第1の機器の表示画面上に前記対応該当地の周辺領域の地図情報上に、前記固有データを意味するアイコン情報を前記権利者の前記対応該当地に相当する位置に表示させる工程と、前記第1の機器からの前記アイコン情報の操作指示により、前記権利者が提供する前記第3の機器の前記公式ホームページを表示させる工程と、を含むことを特徴とする公式サイト認証方法。

【請求項16】 ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び一又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能な第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンクを張る処理を行うプログラムを記録した情報記録媒体であって、

前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータを取得する処理を行なう情報と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽

出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンク化処理を行い、第2のデータを前記第1の機器に対して送信する処理を行なう情報と、

を含むことを特徴とするプログラムを記録した情報記録媒体。

【請求項17】 ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能な第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンクを張る処理を行うプログラムを記録した情報記録媒体であって、

前記第4の機器に対して、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行うようにアクセス要求を送信する処理を行なう情報と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する関連サイトへのリンク化処理を行い、このリンク化処理された第2のデータを、前記第4の機器から受信する処理を行なう情報と、を含むことを特徴とするプログラムを記録した情報記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報処理システム、情報処理方法、広告宣伝方法、公式サイト認証方法、及びプログラムを記録した情報記録媒体に関し、インターネットまたはその他の通信ネットワーク上で表現される文字情報または図形情報などの一方の固有データから、予め関連付けられた他方のデータにリンクを張るものに関する。より詳細には、インターネット上における広告・宣伝に関する技術であり、あるいは、商号または商標などの第三者の利用による不正使用を防止する技術であり、さらには、インターネットにおける情報閲覧者の利便性を高める技術である。

【0002】

【従来の技術】ネットワーク網例えばインターネットは、ほぼ全世界にまたがるコンピュータネットワークの集合体である。インターネットは、1969年に米国A

RPAが始めたARPANETを前身とし、学術目的のNSFnetを経て、1995年以降商用目的に開放されて現在のものになった。現在は、インターネットの接続サービスを提供する企業が相互に接続して、利用者が数億人とも言われている。

【0003】このように、膨大な利用者が利用するようになった原因は、膨大な情報から簡単に、かつ、グラフィカルなメニューで、希望の情報を簡単に探し出せる仕組みが開発されたためである。この仕組みがWWW (World Wide Web) である。

【0004】WWWは、1989年のスイスのTim Berners-Lee氏らによって提案された情報システムである。インターネット上に文字・画像・音声を含むハイパーテキストを構築し、あらゆる情報を継目なくアクセス可能とすることを目的としている。前記WWWでは、クライアントとサーバーとの通信プロトコルとして、HTTP (Hypertext Transfer Protocol) を使用する。前記ハイパーテキストの構築には、HTML (Hyper Text Markup Language) というマークアップ言語を用いるほか、よりリアルなグラフィックスを表現できるVRML (Virtual Reality Modeling Language) 等の言語も提案されている。また、リンク先のデータの指定には、URL (Uniform Resource Language) という表記法が用いられる。

【0005】上記WWWによれば、サーバー自身のデータのほか、他のサーバーの特定のページなど、インターネット上の情報資源にリンクを張ることができる。この縦横無尽に張り巡らされたリンクにより、ユーザーは、所定のサーバーのページ (ハイパーテキストによって構築された画面) から出発し (このページを「ホームページ」という)、ホームページ上の関心のある事項をクリックすることにより、そのサーバーあるいは他のサーバーが提供する他のページを見ることができ、また同様の操作によってそのページから他のページを見ることができる。このように、ユーザーが関心を持っている事項を次々にクリックして見てゆくことにより、最終的に膨大な情報から欲しい情報を得ることができるのである。

【0006】上記仕組みは、技術情報等の提供のみならず、商業用としても大きなマーケットへの接触手段を提供するので、現在多数の企業や個人がインターネット上に独自のホームページを掲載しようとしている。なお、「ホームページ」とは、ユーザーが情報を検索する基点のページを指すが、本明細書ではインターネット上に開示する全てのページ (画面) を含めて「ホームページ」という。

【0007】インターネット上に開示するホームページは、既述したようにHTMLによって構成される。HTMLには、どの文章・画像・音声をどこにレイアウトす

るとか、どの文字をどんな大きさにするとか、色を何にするとかの情報を記述する。

【0008】WWWブラウザ（インターネット上でページを見て興味ある事項を選択することができるようにしたソフトウェア）は、各種の文章・画像・音声をホームページとして合体させて表示させる。このWWWブラウザ（より広くはHTML）の働きにより、ユーザーはコンピュータ画面上に美しくレイアウトされたホームページを見ることができる。

【0009】なお、ホームページは種々の情報を含むが、この情報内容を「コンテンツ」という。また、これからコンテンツを構成しているドキュメント（文章・画像・音声ドキュメント）は、WWW環境下でインターネットに提供されるドキュメントという意味である。つまり、インターネットにホームページを開示するには、作成したホームページをWWWサーバー（インターネットにホームページを発信するサーバー）に格納し、このWWWサーバーの送信プログラム（HTTPD）によってユーザーの要求に応じてファイルを送信することにより行われる。

【0010】ここで、例えば、ある企業名の公式サイトのURLが不明である場合を想定する。というのも、公式サイトには、ユーザーが所望とする情報が多数存在することが多いからである。その場合、検索エンジンにて指定ワードを入力して検索結果が例えば1719件ヒットすると、さらなる検索作業によって絞り込みを行なう。この際、検索エンジンを通して検索した場合には、検索結果の数十件の中に非公式のサイトと連名で検索結果が抽出され、非公式のサイトと連名で公式ページが埋もれてしまっているために、目的のサイトをさらに探し出す必要がある。

【0011】一方、地図情報サイトを利用して、ある企業の住所からその所在地を探し出す場合には、先ず、当該地図情報サイトにおいて、各種地域の絞り込みを行なう必要がある。具体的には、住所が「東京都港区南青山99丁目88番77号」である場合には、先ず「東京都」で絞り込み、次に「港区」、以下順次「南青山」、「99」、「88」、「77」、の順に絞り込みを行ないながら、該当地域周辺の地図情報が表示されることとなる。

【0012】また、インターネット上で企業等が自社の商品・サービスについて広告・宣伝を行う場合、多くの閲覧者が訪れるポータルサイトなどのウェブサイトへのバナー広告の掲載や、宣伝ページへのハイパーリンクなどを組み込むことによって行われている。ここに、ハイパーリンクとは、インターネットのブラウザ上で表現される文字列や図形などの一方の固有データを予め関連付けられた他のデータを持つURLへとリンクさせることをいう。つまり、文字列または図形などのデータを持つテキストの作成者が、予めハイパーリンク先のURL

を指定することにより、そのテキストを呼び出したすべての閲覧者にそのリンクを提供するものである。

【0013】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述のような手法を用いて、公式サイトなどを探し出すためには、検索結果として公式サイトのアドレスと、そうでないが関連性を有するサイトのアドレスとが混在して表示されるために、真の公式サイトのみの閲覧を希望するユーザーにとってみると、その探索に困難性を有するという問題があった。

【0014】また、地図情報サイトから特定の地域の地図情報を引き出す場合には、最終的な対応該当地を探し出すまでに、少なくとも8回の各階層のページを見つづ、8回の操作を行なう必要があり、ユーザーの負担となっていた。

【0015】このように、ユーザー（ホームページの閲覧者）がホームページのテキストに含まれる文字列または図形などの固有データが示す内容に関する情報を知りたい場合、当該情報がネットワーク上に存在していても、前記固有データにハイパーリンクが張られていないケースが多い。その場合、ユーザーは、上述したように検索エンジン等を用いてネットワーク上の膨大な情報の中からその情報を探し出さなければならなかった。

【0016】さらにまた、従来のハイパーリンクでは、バナー広告が掲載されているサイトや、ハイパーリンクが準備されているサイトに、閲覧者がアクセスすることがない限り、情報を提供することが不可能であり、広告宣伝効果が低いという問題があった。

【0017】また、前記ハイパーリンクは、ホームページの作成者（サービス提供者）がリンク先を任意に定めることができるものであり、ホームページのテキストに含まれる任意の文字列を、当該文字列の持つ意味とは異なる内容を持った他のウェブサイトへとリンクさせることもできる。つまり、特定の氏名、商標、商号などを表す固有の文字列を、それと無関係のサイト、または自社と競合する企業のサイトへリンクさせる可能性を有することとなる。

【0018】しかしながら、このようなことを許可してしまうと、他人の商品・サービスを自己の商品・サービスであるかのような誤解を与える不正競争など、その商標権を持つ者に不利益が生じてしまう。

【0019】加えて、上記ハイパーリンクとは別に、ユーザーが、固有のプログラムをユーザー自身の端末に組み込むことにより、前記端末にて表示される任意の文字列に関して、予め関連付けられた他の任意のデータへリンクさせることが考えられる。

【0020】しかしながら、そのような情報検索の利便性は、当該プログラムを組み込んだ端末を介してのみ享受できるものであり、ネットワークに接続された任意の端末すべてに、利便性を与えるものではない。しかも、

ユーザーが前記固有のプログラムを組み込まなければならずユーザーの負担となる。

【0021】本発明は、上記事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、特定の団体組織等の公式サイトを探し出すの困難性を要せず、当該団体組織の地図上の対応該当地なども直ちに閲覧することの可能で、端末に固有のプログラムを組み込むことなく、インターネットにおける情報閲覧者（ユーザー）の端末に対し、全てに同一の利便性を与えることのできる情報処理システム、情報処理方法、広告宣伝方法、公式サイト認証方法、及びプログラムを記録した情報記録媒体を提供することにある。

【0022】また、本発明の他の目的は、インターネット上における広告宣伝効果の低下を防止できる情報処理システム、情報処理方法、広告宣伝方法、公式サイト認証方法、及びプログラムを記録した情報記録媒体を提供することにある。

【0023】また、本発明のさらに他の目的は、文字列又は図形などに含まれる意匠、商標権等を有する固有データを第三者が不正に使用し、権利者の不利益を防止し、不正競争を抑止することのできる情報処理システム、情報処理方法、広告宣伝方法、公式サイト認証方法、及びプログラムを記録した情報記録媒体を提供することにある。

【0024】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1に記載の発明は、ネットワークに配置されたサーバーにより、ユーザー端末のブラウザに表示される第1のデータの中の固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、当該固有データに関連する関連サイトへのリンクを張る処理を行う情報処理システムであって、予め登録された前記固有データと、この固有データに対応する前記関連サイトへのリンク先のURL情報とを格納した格納手段と、前記ユーザー端末からのアクセス要求に基づいて、要求先のサイトの第1のデータの取得を行う取得手段と、取得された前記第1のデータの中から前記格納手段の前記固有データを探し出し、該当する該当固有データがある場合には、対応する前記URL情報に基づいて前記該当固有データに関連する関連サイトへのリンク化処理を行い第2のデータを生成するリンク化処理手段と、前記第2のデータを前記ユーザー端末に表示させる処理を行なう表示処理手段と、を含むことを特徴としている。

【0025】また、請求項2に記載の発明は、前記格納手段のリンク先のURL情報は、地図情報サイトの前記固有データに対応する対応該当地の周辺領域に相当する下位階層のアドレス情報まで有し、前記表示処理手段は、前記ユーザー端末でのリンク化された前記第2のデータ中の前記固有データに対する操作指示に基づいて、前記ユーザー端末の表示画面上に前記対応該当地の周辺

領域の地図情報を表示させることを特徴としている。

【0026】また、請求項3に記載の発明は、前記対応該当地の周辺領域の地図情報上に、前記固有データを意味するアイコン情報を前記対応該当地に相当する位置に表示させるアイコン情報生成手段を有することを特徴としている。

【0027】また、請求項4に記載の発明は、前記表示処理手段は、前記ユーザー端末での前記アイコン情報の操作指示に基づき、前記固有データの関連サイトを前記ユーザー端末に表示させることを特徴としている。

【0028】また、請求項5に記載の発明は、前記ユーザー端末にて利用されるブラウザの設定項目において、プロキシの設定を前記サーバーのIPアドレスとして設定する設定手段を有することを特徴としている。

【0029】また、請求項6に記載の発明は、前記第1のデータ中の文字コードを認識するコード認識手段と、前記コード認識手段による認識結果に基づいて、複数種類の文字コードのうち特定の文字コード以外の他の文字コードが形成されている場合には、当該一の文字コードに変換するコード変換手段を有することを特徴としている。

【0030】また、請求項7に記載の発明は、ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能な第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンクを張る処理を行う情報処理方法であって、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行う取得工程と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンク化処理を行い、第2のデータを前記第1の機器に対して送信するリンク化工程と、を含むことを特徴としている。

【0031】また、請求項8に記載の発明は、前記第1の機器にて利用されるブラウザにおいて、前記第4の機器のIPアドレスをプロキシの設定として設定する工程をさらに有することを特徴としている。

【0032】また、請求項9に記載の発明は、前記リンク先のURL情報は、地図情報サイトの前記固有データ

に対応する対応該当地の周辺領域に相当する下位階層のアドレス情報まで有し、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第1の機器の表示画面上に前記対応該当地の周辺領域の地図情報を表示させる工程を有することを特徴としている。

【0033】また、請求項10に記載の発明は、前記対応該当地の周辺領域の地図情報上に、前記固有データを意味するアイコン情報を前記対応該当地に相当する位置に表示させる工程を有することを特徴としている。

【0034】また、請求項11に記載の発明は、前記第1のデータ中の文字コードを認識し、複数種類の文字コードのうち特定の一の文字コード以外の他の文字コードが形成されている場合には、当該一の文字コードに変換する工程を有することを特徴としている。

【0035】また、請求項12に記載の発明は、前記固有データは、頻繁に検索される語句であることを特徴としている。

【0036】また、請求項13に記載の発明は、ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び一又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能な第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンクを張る処理を行う情報処理方法であって、前記第4の機器に対して、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行うようにアクセス要求を送信する工程と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する関連サイトへのリンク化処理を行い、このリンク化処理された第2のデータを、前記第4の機器から受信する工程と、を含むことを特徴としている。

【0037】また、請求項14に記載の発明は、ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び一又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能であり広告登録者が登録を行なう第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される前記広告登録者に関する固有の文字情報または図形情報を含む固有データに

対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供する広告登録者のホームページへのリンクを張る広告宣伝方法であって、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行う取得工程と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の広告登録者が提供する前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する前記広告登録者の提供する前記第3の機器のホームページへのリンク化処理を行い、第2のデータを前記第1の機器に対して送信するリンク化工程と、を含むことを特徴としている。

【0038】また、請求項15に記載の発明は、ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び一又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能であり権利者が登録を行なう第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される前記権利者に関する固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供する権利者の公式ホームページへのリンクを張ることで公式サイトの認証を行なう公式サイト認証方法であって、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行う取得工程と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の権利者が提供する前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する前記権利者の提供する前記第3の機器の公式ホームページへのリンク化処理を行い、第2のデータを前記第1の機器に対して送信するリンク化工程と、前記第1の機器からの前記第2のデータのリンク化された前記固有データの操作指示により、地図情報サイトの前記固有データに対応する対応該当地の周辺領域に相当するURL情報に基づいて、前記第1の機器の表示画面上に前記対応該当地の周辺領域の地図情報上に、前記固有データを意味するアイコン情報を前記権利者の前記対応該当地に相当する位置に表示させる工程と、前記第1の機器からの前記アイコン情報の操作指示により、前記権利者が提供する前記第3の機器の前記公式ホームページを表示させる工程と、を含むことを特徴としている。

【0039】また、請求項16に記載の発明は、ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び一又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能な第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンクを張る処理を行うプログラムを記録した情報記録媒体であって、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータを取得する処理を行なう情報と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンク化処理を行い、第2のデータを前記第1の機器に対して送信する処理を行なう情報と、を含むことを特徴としている。

【0040】また、請求項17に記載の発明は、ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び一又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能な第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンクを張る処理を行うプログラムを記録した情報記録媒体であって、前記第4の機器に対して、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行うようにアクセス要求を送信する処理を行なう情報と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する関連サイトへのリンク化処理を行い、このリンク化処理された第2のデータを、前記第4の機器から受信する処理を行なう情報と、を含むことを特徴としている。

【0041】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好適な実施の形態

の一例について、図面を参照して具体的に説明する。なお、以下には、本発明の情報処理システムをキーワードリンクシステムに適用した例について説明することとする。

【0042】（システムの全体構成）先ず、本発明の特徴は、ネットワークに接続された任意のコンピュータ（ユーザー端末）から呼び出された任意のテキストに含まれる文字列または図形などの固有データ（例えばHTML情報）に対して、テキスト作成者（Webサーバー上に情報を提供する情報提供者）の意図にかかわらず、HTML情報内に存在する特定のキーワード（予め関連付けられた固有のデータ）を、ネットワークに接続したデータベース（ないしはキーワードリンクサーバー）に登録することにより、ネットワークに接続している任意のユーザー端末が読み込んだ任意のテキスト中にその固有のデータ（キーワード）に関連付けられたリンクが表示されるものである。

【0043】つまり、固有のデータ間のリンクが設定されると、ネットワーク上にあるすべてのテキスト中に含まれるその文字列または図形などの固有データに自動的にリンクが張られるわけである。例えば、ある企業名とその企業のウェブサイトを含むURLを登録するだけで、ネットワーク上に存在するテキストすべてに含まれるその企業名からその企業のウェブサイトへのリンクが自動的に閲覧者に示されるのである。

【0044】このような特徴的な構成であるキーワードリンクサーバーの具体的な説明に先立って、本発明のキーワードリンクシステムを動作させる前提となる、システム全体の概略構成、とりわけその通信インフラ並びにハードウェア構成について、図1、図2を参照して説明する。図1は、本実施の形態のキーワードリンクシステムの全体の概略構成を示す説明図である。

【0045】本実施の形態のキーワードリンクシステム1は、サービスセンターが所定のキーワードリンクサービスを提供するものであり、図1に示すように、ホームページを閲覧する情報閲覧者（ユーザー）側の一又は複数のユーザー端末（ないしは端末あるいはクライアント（いずれの称呼であってもよい）10（10-1～10-N）（本発明にいう第1の機器）と、Webページを提供する一又は複数のターゲットサーバー20（20-1～20-M）（本発明にいう第2、第3の機器）と、これらユーザー端末10、ターゲットサーバー20とネットワークなどの通信網を介して無線、有線等により各々データ通信可能に形成されてサービスを提供するキーワードリンクサーバー30（本発明にいう第4の機器）と、を含んで構成されている。

【0046】なお、ネットワークとしては、例えばインターネット（乃ち、TCP・IPプロトコルを用いた通信態様）や、他の種々の通信プロトコルを用いたネットワーク、無線（携帯電話網、衛星通信等を含む）ネット

ワークであっても構わない。

【0047】ユーザー端末10は、ホームページの閲覧を所望する利用者（ユーザー）により使用されるものであり、webサーバー等にアクセス可能なコンピュータ機器である。この端末10は、インターネット関連の機能を有していれば、携帯電話端末・パームコンピュータ・PDA、デスクトップ、ラップトップコンピュータ、モバイル、ページャその他無線・有線通信機能を有する情報機器、またはこれに類するコンピュータなどいかなるコンピュータでもよく、移動式・固定式を問わない。

【0048】なお、ユーザー端末10は、図示しないが、種々の画像情報等を表示するための表示手段（スクリーン）、この表示手段の表示画面上にデータを入力するための操作入力手段、データを送受信するための送受信手段、各種データを記憶するための記憶手段（メモリ）、これらの制御を司る制御手段などを有している。これらの各手段の構成は、種々のハードウェア及びソフトウェアによって実現できるよう構成される。なお、メモリは、物理的に分離不可能なもの、またはメモリスティックまたは同様のメモリなどの分離可能なものである。

【0049】ターゲットサーバー20は、例えばWeb上で情報をユーザーに提供するものであり、インタラクティブなウェブページの管理その他インターネットサービスの提供を目的とした市販のサーバーまたは無線・有線通信機能をもつ専用のサーバーでよい。このターゲットサーバー20は、図示しないが、ユーザー側にホームページなどのメニュー画面等の各種画面が表示されるように促す例えばCGIプログラム等により形成された表示処理手段、ユーザー端末10との間で例えばユーザー情報などの各種データの送受信を行う送受信手段、システム管理者用の表示手段及び操作入力手段、各種制御プログラム、サービス実行プログラムなどを記憶しておく記憶手段、などを含んで構成される。これらの各手段の構成は、種々のハードウェア及びソフトウェアによって実現できるよう構成される。

【0050】ハードウェア構成の具体例としては、図示しないが、通信機能の制御を行う通信用インターフェース、ハードディスク等の記憶装置、端末からのデータ入出力を行う入出力インターフェース、及びそれらの制御を司る中央演算処理装置（CPU）等が挙げられる。

【0051】また、ソフトウェアとしては、このグラフィカルユーザインターフェースを実現するための、標準ウェブページオーサリングツールおよびHTML、XML、XHTML、SGML、CGI、Java、JavaScript、ActiveX等の言語を用いてプログラムされている。

【0052】さらに、「ターゲットサーバー20」には、webサーバーのみならず、データベース、電子メールを送受信するためのPOP及びSMTPサーバーや

その他DNSサーバーなどの各種サーバーを含んで構成され、これらを含むシステムの総称として機能する。

【0053】キーワードリンクサーバー30は、有線通信に加えて無線通信機能を有し、データベースその他のメモリなど、キーワードリンクサーバー30にアクセス可能なメモリを有する。キーワードリンクサーバー30は、ユーザー端末10からのアクセスに応じて、HTMLファイル内の任意のテキスト文字（キーワード）に対してリンクを形成するサービスの提供を目的としたものであり、プロキシサーバーまたは無線・有線通信機能をもつ専用のサーバーでよい。

【0054】このキーワードリンクサーバー30は、図示しないが、ユーザー端末10との間で例えばHTML情報などの各種データの送受信を行う送受信手段、システム管理者用の表示手段及び操作入力手段、各種制御プログラム、実行プログラムなどを記憶しておく記憶手段、などを含んで構成される。これらの各手段の構成は、種々のハードウェア及びソフトウェアによって実現できるよう構成される。

【0055】ハードウェア構成の具体例としては、図示しないが、通信機能の制御を行う通信用インターフェース、ハードディスク等の記憶装置、端末からのデータ入出力を行う入出力インターフェース、及びそれらの制御を司る中央演算処理装置（CPU）等が挙げられる。

【0056】ソフトウェア構成としては、図2に示すように、プロキシサーバーとして機能するためのプロキシサーバープログラム処理部31、HTMLファイルに関する処理を行うHTTPサーバーとして機能するためのHTTPサーバープログラム処理部32、このHTTPサーバープログラム処理部32上で動作する「KeyWordLinkServer.dll」なるdllファイル33、「KeyWordLink.txt」なるtxtファイル34などを有している。

【0057】上述のような構成を有するキーワードリンクシステム1において、予めキーワードリンクサーバー30には、所定のキーワードとこのキーワードに対応するリンク先のURL情報とを登録しておく。この登録された情報が、txtファイル34として保存されることとなる。

【0058】また、ユーザー端末10では、予め、ブラウザ等の「プロキシの設定」として、前記キーワードリンクサーバー30のアドレス（IPアドレスないしはURL）の設定を行うこととなる。

【0059】このような前提の下、ユーザー端末10からのHTTPリクエスト（アクセス要求）に基づいて、キーワードリンクサーバー30は、当該HTTPリクエストの要求先のアドレスに相当するWebページを提供するターゲットサーバー20より、HTMLデータI

（第1のHTML情報）を取得する。この取得したHTMLデータI（第1のHTML情報）の全文に対して、

前記登録されている登録キーワードがあるのかを検索し、当該登録キーワードを前記HTMLデータI（第1のHTML情報）の中から抽出した場合には、HTMLデータIの中のキーワードを、リンク先のURL情報及びキーワードを含むリンク化するための（HTML）タグに置き換えるよう、変更する処理を行う。これによって、新たなHTMLデータII（第2のHTML情報）が生成される。

【0060】このHTMLデータIIは、図2の符号40のように概略構成されるもので、前記キーワードリンクサーバー30により、リンク先URL情報42及びキーワード43に置き換えられることとなる。なお、日本語データを全てシフトJISに置き換える処理も行われ、ヘッダー部においては「Content-Type」が「Shift_jis」43となっている。これらの処理は、前記dllファイル33にて行われることとなる。

【0061】そして、前記HTMLデータIIは、キーワードリンクサーバー30よりユーザー端末10に対して送信され、前記ユーザー端末10の表示画面上には、前記HTMLデータIIに相当する情報が表示されることとなる。

【0062】なお、プロキシサーバープログラム処理部31が形成されているために、ユーザー端末10とHTTPサーバープログラム処理部32との間の情報の授受は、このプロキシサーバープログラム処理部31を介して行われる。そのため、ユーザー端末10からの要求は、プロキシサーバープログラム処理部31を介してHTTPサーバープログラム処理部32に伝達される一方、HTTPサーバープログラム処理部32からのHTMLデータは、プロキシサーバープログラム処理部31を介してユーザー端末10に送信される。

【0063】（表示画面について）次に、上述のような構成を有するキーワードリンクシステム1において、ユーザー端末のブラウザのプロキシの設定において、キーワードリンクサーバーのIPアドレスを指定した場合に表示される表示画面（ユーザーインターフェース）の（画面展開の）態様の一例について、図3を参照しつつ説明する。

【0064】同図には、ユーザー端末10の表示画面上に、任意のホームページを表示した表示画面100、A社の公式ホームページを表示した表示画面110、B社の公式ホームページを表示した表示画面120、登録した場合の地図情報サイトの対応該当地を表示した表示画面130、未登録の場合の地図情報サイトの対応該当地を表示した表示画面140などが表示形成されている。

【0065】ここに、予めキーワードリンクサーバー30に登録した登録キーワードを、仮に、「A社」、「住所a1」、「電話番号a2」、「郵便番号a3」、「B社」とし、それら各々に対応するリンク先のURL情報

を、仮に、「http://www.A.co.jp」、「http://61.200.10.101/Xmapchannel/./a1」、「http://61.200.10.101/Xmapchannel/./a2」、「http://61.200.10.101/Xmapchannel/./a3」、「http://www.B.co.jp」とする。

【0066】表示画面100では、コンテンツとして、文字情報、図形情報や画像情報などが混在しており、文字情報は主として例えばテキスト形式、図形情報、画像情報は、例えば「gif」形式で構成されている。そして、文字情報の中に予め登録されたキーワードがある場合には、リンクが張られ、符号102や符号104などに示されるように、「A社」、「住所a1」の下に例えばアンダーラインが表示形成され、リンクが張られている旨が解るように形成されている。

【0067】また、当該「A社」102などをポインタ103によりクリックを行うと、リンク先のURL情報Aである「http://www.A.co.jp」のページ、乃ち、A社の公式ホームページである表示画面110を表示することとなる。

【0068】一方、表示画面100において、「住所a1」104などをポインタ103によりクリックを行うと、住所a1に対応する地図情報サイト上の対応該当地を表示する表示画面130もしくは表示画面140が表示されることとなる。この際、アドレスリンクとして文字情報である「A社」あるいは「B社」がキーワードとして登録されている場合には、表示画面130が表示されるが、アドレスリンクとして未登録の場合には、対応該当地のみを表示した表示画面140が表示されることとなる。

【0069】具体的には、登録されているものと仮定すると、リンク先のURL情報a1である「http://61.200.10.101/Xmapchannel/./a1」のページ、乃ち、地図情報サイトの対応該当地を表示した表示画面である表示画面130を表示することとなる。

【0070】表示画面110においても、同様にして、文字情報の中に予め登録されたキーワードがある場合には、リンクが張られ、符号112、符号114、符号116などに示されるように、「住所a1」、「電話番号a2」、「郵便番号a3」、「B社」の下にアンダーラインが各々表示形成される。

【0071】当該「住所a1」112などをポインタ103などによりクリックを行う場合には、リンク先のURL情報a1である「http://61.200.10.101/Xmapchannel/./a1」のページ、乃ち、地図情報サイトの対応該当地を表示した表示画面である表示画面130を表示することとなる。

同様に、当該「電話番号a2」114などをポインタ103などによりクリックを行う場合には、リンク先のURL情報a2である「http://61.200.10.101/Xmapchannel/. . /a2」のページ、当該「郵便番号a3」116などをポインタ103などによりクリックを行う場合には、リンク先のURL情報a3である「http://61.200.10.101/Xmapchannel/. . /a3」のページが表示されることとなる。ただし、この際、「住所a1」、112の場合には、住所a1を中心とする該当地図が、「電話番号a2」114の場合には、電話番号a2の範囲に相当する該当地図が、「郵便番号a3」116の場合には、郵便番号a3の範囲に相当する該当地図が、いずれも例えばほぼ縮尺1/1500程度あるいはそれ以上の縮尺で表示される。

【0072】一方、表示画面110において、当該「B社」118などをポインタ103によりクリックすると、リンク先のURL情報Bである「http://www.B.co.jp」のページ、乃ち、B社の公式ホームページである表示画面120を表示することとなる。

【0073】表示画面120においても、同様に、文字情報の中に予め登録されたキーワードがある場合には、リンクが張られ、符号122、符号124などに示されるように、「A社」、「住所a1」の下にアンダーラインが各々表示形成される。

【0074】また、表示画面120において、当該「A社」122などをポインタ103によりクリックを行うと、リンク先のURL情報Aである「http://www.A.co.jp」のページ、乃ち、A社の公式ホームページである表示画面110を表示することとなる。

【0075】一方、表示画面120において、当該「住所a1」122などによりクリックを行うと、リンク先のURL情報X1である「http://61.200.10.101/Xmapchannel/. . /a1」のページ、乃ち、地図情報サイトの対応該当地を表示した表示画面である表示画面130を表示することとなる。

【0076】表示画面130においては、地図情報の中にアイコンがある場合には、リンクが張られ、符号134、136などに示されるように、地図情報上においてA社に対応する該当地には、「A社」を示すアイコン134が表示形成され、地図情報上においてB社に対応する該当地には、「B社」を示すアイコン136が表示形成される。

【0077】前記アイコン134をポインタ103などによりクリックを行うと、リンク先のURL情報Aである「http://www.A.co.jp」のページ、乃ち、A社の公式ホームページである表示画面11

0を表示することとなり、同様に、前記アイコン136をポインタ103などによりクリックを行うと、リンク先のURL情報Bである「http://www.B.co.jp」のページ、乃ち、B社の公式ホームページである表示画面10を表示することとなる。

【0078】なお、前記アイコン136をドラッグすることによりプルダウンメニュー138を表示させ、同建物内にある固有名詞一覧を表示させるよう構成してもよい。

【0079】上記のような表示画面の態様において、任意のホームページを表示した表示画面100、あるいは、表示画面120において、登録されたキーワード「A社」がある場合には、当該「A社」102あるいは122をクリックすることにより、A社の公式ホームページを表示した表示画面110が表示される。これにより、一発で公式サイトにアクセスすることが可能となり、また、公式サイト of 広告として機能したり、あるいは、公式サイト of 認証をも行うことが可能である。

【0080】また、表示画面100、あるいは、表示画面120において、登録されたキーワード「住所a1」がある場合には、当該「住所a1」104あるいは124をクリックすることにより、地図情報サイトにおける住所a1を中心とした対応該当地を表示した表示画面130が一発で表示されることとなる。これにより、住所からダイレクトな地図を表示することが可能である。

【0081】逆に、表示画面130において、対応該当地の地図情報上に表示形成された「A社」のアイコン134をクリックすることにより、A社の公式ホームページを表示した表示画面110が表示される。

【0082】以上のように、地図画面内に、登録されたサイトの企業やイベント先などのアイコンを表示させる一方、アイコンには登録されたサイトへリンクが張られているので、地図と登録サイトに双方向性を有することで、アドレスリンクの登録サイトは、しかるべき権限のある者が登録申請し第三機関が認めた公式のサイトとして、サイト認証の機能を有することとなる。また、地図画面上においても、その者が存在する実際の住所を表示して、実在認証を行うことができる。

【0083】さらに、任意のホームページをユーザー端末より閲覧する際に、登録されたキーワードが表示されることで、キーワードとして、企業名等を用いれば、公式サイト of 広告としても利用でき、ユーザーは、HTML情報中にキーワードのあるホームページならば常時当該キーワードがリンクを意味する強調表示された状態で表示されるため、広告宣伝効果を高めることができる。

【0084】また、地図情報サイトにおいても、アイコンとして広告登録者、認証登録者の住所の対応該当地にも表示され、アイコンが広告登録者のURLとリンクされているために、地図サイトにおいても広告効果を促すことができる。

【0085】くわえて、新製品やイベントなどのように、一定期間のみ設置されたサイト専門とすることにより、広告として期間限定ワードの独占を促すことができ、さらには、電子認証としてオリジナルページの保障、固有名詞の独占などを促すことができる。加えて、住所の位置表示をした地図画面により、この地図画面内に登録されたサイトの企業やイベント先などのアイコンを表示させ、アイコンには登録されたサイトへリンクするように地図と登録サイトに双方向性を持たせることができる。

【0086】このように、アドレスリンクによる固有名詞の公式なwebページへの移動により、閲覧画面からダイレクトに公式サイトを表示でき、非公式なサイトを排除することも可能であり、同時に実際にそのものの位置を表示する地図への移動により、公式サイトと公式登録者の位置情報（地図）との連動で実在証明を視覚的にビジュアルにでき、リアル社会に存在する情報の責任所在の明確化によるサイトの信用度への貢献ができ、情報と位置との連動ができ、住所にマッチングした地図の画面を表示できる。

【0087】なお、本実施形態において「キーワード」とは、固有名詞が好ましく、人名、企業名、団体名、商品名、商標名、地名、国名など、所有、使用、管理することが認められているもの、法的拘束力のあるもしくはそれと同等の機能を有するものを含む。ここに、企業名、団体名としては、商事会社、民事会社、営団、公団、非営利団体、政党、NGOなどを含む。商品名としては、製品のような有形物の名前、イベントサービス等の無形の名称、著作物を含む。人名としては、作家、作曲家、政治家、ジャーナリスト、芸能人、研究者、学者などの著名人を含む。

【0088】また、上述の例においては、キーワードなどの文字情報をアドレスリンクとして登録する場合を例示したが、文字情報としては、辞書、辞典、法律用語であってもよく、さらには、文字情報に限らず、図形情報、画像情報（静止画像、動画像）、音声情報（音楽等）などの固有データであってもよい。

【0089】（本実施の形態の特徴的構成）次に、キーワードリンクサーバー30の詳細について、図4ないし図5を用いて説明する。なお、ユーザー端末10には、キーワードリンクサーバー30をプロキシサーバーとして利用するために、当該キーワードリンクサーバー30のアドレス（IPアドレスないしはURL）等の設定を行うための設定手段12が形成されている。

【0090】キーワードリンクサーバー30は、上述したように、プロキシサーバープログラム処理部31、HTTPサーバープログラム処理部32、d11ファイル33、txtファイル34の他、予めキーワード情報を設定登録するための設定手段35、地図情報上の当該キーワードのアイコンの座標位置を算出する座標位置算

出手段36aと、当該座標位置にアイコン情報を生成するアイコン情報生成手段36bと、を含んで構成されている。

【0091】HTTPサーバープログラム処理部32は、ユーザー端末10からのリクエストに基づいて、ターゲットサーバー20からのHTML情報（HTMLデータ）を取得するHTML情報取得手段32aと、当該HTML情報取得手段32aにて取得されたHTMLデータを一時格納する情報一時格納手段32bと、前記情報一時格納手段32bに格納されたHTMLデータをユーザー端末10に対して送信するように制御する送信制御手段32cと、を含んで構成されている。

【0092】さらに、HTTPサーバープログラム処理部32としては、ユーザー端末10からの操作入力に応じて、キーワードに関連する関連サイト（公式サイト）のホームページ（公式ホームページ）を提供するターゲットサーバー20、や地図情報サイトを提供するターゲットサーバー20など（第3の機器）からの各HTML情報を各々取得し、ユーザー端末10に対して返すことによりユーザー端末10の表示画面上の表示処理を促す表示処理手段32dを有しており、前記情報一時格納手段32bとも相関している。また、地図情報サイトからのHTML情報を取得する際には、登録の有無に応じて、アイコン情報生成手段36bからのアイコン情報を合成する処理も行なうこととなる。

【0093】これにより、表示処理手段32dは、ユーザー端末10でのリンク化された第2のHTML情報（第2データ）中の固有データに対する操作指示に基づいて、ユーザー端末10の表示画面上に対應該当地の周辺領域の地図情報を表示させたり、対應該当地の周辺領域の地図情報上に、前記固有データを意味するアイコン情報を前記対應該当地に相当する位置に表示させるアイコン情報生成手段36bにより合成表示したり、ユーザー端末10でのアイコン情報の操作指示に基づき、固有データの関連サイトをユーザー端末10に表示させたりすることができる。

【0094】なお、HTML情報取得手段32aにより、本発明にいう「取得手段」を構成でき、txtファイル（キーワード情報格納手段）34により、本発明にいう「格納手段」を構成でき、d11ファイル（リンク情報取得手段）33及び情報一時格納手段32bにより、本発明にいう「リンク化処理手段」を構成でき、送信制御手段32cにより本発明請求項1にいう「表示処理手段」を構成できる。この際、格納手段は、予め登録された固有データと、この固有データに対処する関連サイトへのリンク先のURL情報とを格納する。取得手段は、ユーザー端末10からのアクセス要求に基づいて、要求先のサイトの第1のデータの取得を行う。リンク化処理手段は、取得された第1のデータの中から格納手段の固有データを探し出し、該当する該固有データがあ

る場合には、対応するURL情報に基づいて該当固有データに関連する関連サイトへのリンク化処理を行い第2のデータを生成する。表示処理手段は、前記第2のデータをユーザー端末10に表示させる処理を行なう。

【0095】ここで、本実施形態の特徴となるプログラムは、DLLファイル22、キーワード設定のためのtxtファイル34にて構成される部分に特徴を有するものであるから、以下、これらの機能を説明するために、説明の便宜上機能的な構成要件に分解して説明することとする。

【0096】D11ファイル（リンク情報取得手段）33は、txtファイル（キーワード情報格納手段）34のキーワードに基づいて、情報一時格納手段32bに格納されたHTMLデータの中から対応するキーワードを抽出する対応キーワード抽出手段33aと、抽出されたキーワードに対応するリンク先URL情報をtxtファイル34から取得して、HTMLデータ文中の当該キーワードが記述されている箇所と変更するリンク情報変更手段33cと、リンク先URL情報（リンク情報）により前記HTMLデータの記述を所定のタグによりリンク化するリンク化手段33bと、を含んで構成されている。

【0097】txtファイル（キーワード情報格納手段）34は、あるキーワードと、そのキーワードに対応するリンク先のURL情報とが各々対応付けられて予め設定手段35による設定登録により格納されたファイルであり、例えば、キーワード情報が「A社」である場合には、対応するリンク先のURL情報は「A」、キーワード情報が「住所a1」である場合には、対応するリンク先のURL情報は「a1」、キーワード情報が「電話番号a2」である場合には、対応するリンク先のURL情報は「a2」、キーワード情報が「郵便番号a3」である場合には、対応するリンク先のURL情報は「a3」、キーワード情報が「B社」である場合には、対応するリンク先のURL情報は「B」という具合に各々対応して格納されている。

【0098】d11ファイル33及びtxtファイル34よりなる本プログラムは、プロキシサーバーとして、ユーザーからのリクエストのあったインターネット、イントラネット上のHTMLデータの中から、「KeywordLink.txt」ファイルで指定したあるキーワードを探しだし、その部分を「KeywordLink.txt」ファイルのキーワードに対応したリンク先のURL情報へと変更し、その変更したHTMLデータをユーザー端末に返すためのプログラムである。また、前記プログラムは、OS環境下でHTTPサーバープログラム処理部32のフィルターDLLとして、HTTPサーバープログラム処理部32に連動して動作する。

【0099】ここで、キーワードリンクサーバー30上

にプロキシサーバープログラム処理部31を構成する場合には、当該プロキシサーバープログラム処理部31は、複数枚のネットワークカードに対応でき、キーワードリンクサーバー30専用のポート番号を割り当てることができ、かつ、セキュリティの設定を行うことができるよう構成することが好ましい。以上のことがプロキシサーバープログラム処理部31により可能となるが、キーワードリンクサーバー30は、これが無くても動作するように構成されている。

【0100】なお、本実施の形態では、URLが「http://」ではじまるHTTPプロトコルにのみ対応するよう構成してあるが、その他変形例としてhttps://で始まる暗号化ページやまた、その他のプロトコルに対応するよう構成してもよい。

【0101】また、HTTPプロトコルのMETHODとして、POST及びGETの両METHODに対応している。なお、本実施の形態においては、この他のメソッドには対応しない構成を採用しているが、変形例として、他のDELETEなどのメソッドに対応するように構成してもよい。

【0102】上記のような構成を有するキーワードリンクサーバー30において、ユーザー端末10からのアクセス要求に基づき、プロキシサーバープログラム処理部31を介して、HTML情報取得手段32は、ターゲットサーバー20より、HTML情報（HTMLデータ）の取得を行い、HTMLデータがテキストでない場合には、バイナリファイルとみなして、送信制御手段32cによりプロキシサーバープログラム処理部31を介して、ユーザー端末10にそのままHTML情報を送信する。

【0103】一方、HTML情報（HTMLデータ）がテキストである場合には、情報一時格納手段32bに当該HTML情報を格納する。

【0104】そして、対応キーワード抽出手段33aは、情報一時格納手段32bのHTMLデータの文章中から、txtファイル（キーワード情報一時格納手段）34に格納されたキーワードがあるのかを検索し、当該キーワードがある場合には、そのキーワードを抽出する。

【0105】抽出されたキーワードに基づいて、リンク情報変更手段33cは、txtファイル（キーワード情報格納手段）34から対応するリンク先のURL情報（リンク情報）を抽出する。次に、リンク化手段33bは、抽出されたURL情報及びキーワードにリンク化するためのタグを付与した上で、前記情報一時格納手段32bのHTML情報（HTMLデータ）の対応するキーワードを、前記タグ並びにURL情報及びキーワードに置き換えることで、リンク化を行うこととなる。

【0106】前記情報一時格納手段32bに格納されていたHTML情報（いわば第1のHTML情報）にう対

して、リンク化手段33bにてリンク化された新たなHTML情報（いわば第2のHTML情報）は、情報一時格納手段32bに格納された後、送信制御手段32cにより、プロキシサーバープログラム処理部31を介して前記ユーザー端末10に送信されることとなる。これによって、キーワードがリンク化したHTML情報がユーザー端末10の表示画面上に表示されることとなる。

【0107】（コード認識を行うための構成）次に、キーワードリンクサーバー30における日本語コードを認識するための構成について、図5を参照しつつ説明する。

【0108】キーワードリンクサーバー30は、上述したように、プロキシサーバープログラム処理部31、HTTPサーバープログラム処理部32、d11ファイル33、txtファイル34などを有する。そして、d11ファイル33は、前記リンク化手段33bなどの他、コード変換前のHTML情報（HTMLデータ）37aの各日本語コード、JIS、S_JIS、EUC等を認識するコード認識手段38、前記コード認識手段38にて認識された各種コード、例えば、JISコードをS_JISに変換するコード変換手段39a、EUCコードをS_JISに変換するコード変換手段39b、などを有する。

【0109】コード変換手段39a、39bによりコード変換がなされると、コード変換後のHTML情報（HTMLデータ）37bは、画像情報の他は、日本語コードがすべてS_JISコードになる。そして、全てS_JISコードに変換されたHTML情報（HTMLデータ）37bに対して、リンク化手段33bは、txtファイル34を参照することにより、リンク化を行う。そして、リンク化が行われたHTML情報（HTMLデータ）となる。

【0110】このリンク化が行われたHTML情報（HTMLデータ）を、HTTPサーバープログラム処理部32は、プロキシサーバープログラム処理部31を介してユーザー端末10に対して送信することとなる。

【0111】インターネットのWWWで使われている日本語の文字コードには、シフトJIS、EUC、JISの3種があるが、本プログラムでは、これらのいずれにも対応している。すなわち、d11ファイル及びtxtファイルよりなる本プログラムでは、日本語のEUC及びシフトJISコードに対応しており、さらに、JISコードのページにも対応できる。また、本プログラムでは、取得した日本語ページのコードをすべてシフトJISに変換した後、キーワードとの比較検索を行い、該当する箇所をリンクに変更する。

【0112】そして、本プログラムでは、コードの認識に、本文中のMETA文の設定を行っている。具体的には、HTML本文中に、`<META http-equiv=Content-Type Charset=E`

`UC-JP>`があった場合には、EUCコードとみなし、`<META http-equiv=Content-Type Charset=iso-2022-JP>`があった場合には、JISコードとみなし、以上のいずれかのコードの場合には、コード変換を行うこととなる。また、META文中のCharsetの値も、`<META http-equiv=Content-Type Charset=shift_jis>`のように、`shift_jis`に変換する。

【0113】ヘッダー中のContent-TypeにCharsetの記述がある場合も同じく、`shift_jis`に変換する。もし、ヘッダーと本文中のMETA文との値が一致しない場合に、META文の指定に従う。

【0114】（処理手順について）次に、上述のような構成を有するキーワードリンクサーバーの処理手順について、図6を参照して説明する。

【0115】キーワードリンクサーバーは、次のようなプロセスで動作する。ユーザー端末は、ブラウザにおける各種設定項目のうち、「プロキシの設定」なる設定項目を、キーワードリンクサーバーのIPアドレス（ないしはURL）に設定する。そうすると、ユーザー端末からの任意のURLへのアクセス要求は、プロキシサーバーとして機能するキーワードリンクサーバーに送信されることとなる。このキーワードリンクサーバーには、上述したようにd11ファイルが常駐しているために、送信されたアクセス要求（HTTPリクエスト）は、先ず、キーワードリンクサーバーのHTTPサーバープログラム処理部（例えば、IIS、Apache等）に渡され、HTTPサーバープログラム処理部から「KeywordLinkServer.d11」なるd11ファイルに渡される。

【0116】キーワードリンクサーバーでは、図6に示すように、ユーザー端末からのリクエストがHTTPプロトコルかどうかのチェックを行う（ステップ、以下「S101」）。そして、メソッドがGET又はPOSTかどうかのチェックも行う（S102）。

【0117】リクエストがHTTPプロトコルで、メソッドがGET又はPOSTである場合には、URLのリクエスト先サーバー（ターゲットサーバー）に対して、HTTPオープンコネクションを行う（S103）。そして、リクエスト先からHTMLデータを取得する（S104）。

【0118】このようなS101からS103により、ユーザー端末（第1の機器）からのアクセス要求に基づいて、ターゲットサーバー（第2の機器）が提供するホームページに関する情報を含む第1のHTML情報（第1のデータ）の取得を行う取得工程を実現できる。

【0119】ターゲットサーバーからのHTMLデータがプロキシサーバーとして機能するキーワードリンク

サーバーに戻ってくると、d11ファイルの処理によりそのHTMLデータが捕らえられる。

【0120】ここで、戻ってきたHTMLデータのヘッダー部を参照し、ヘッダー部の「Content-Type:」が「text/html」か否かに関する判断処理を行う(S105)。この判断処理において、「Content-Type:」が「text/html」でない場合、もしくは、「Content-Type:」が見つからない場合には、ファイルをバイナリファイルと見なして、データをそのままの形でクライアント(ユーザー端末)に送信する(S106)。

【0121】一方、「Content-Type:」が「text/html」の場合には、データを最後まで全部取り込み、プロキシサーバーとして機能するキーワードリンクサーバーに一旦格納する(S107)。取り込んだHTMLデータの日本語コード(日本語の文字コード)を認識し、当該コードをすべて、シフトJISに変換する(S108)。

【0122】この認識においては、シフトJISコード、EUCコード、JISコードを認識し、このうち、EUCコード、JISコードを認識した場合には、シフトJISコードに変換し、シフトJISコードを認識した場合には、そのままの形でHTMLデータを構成する。

【0123】具体的な認識手法としては、HTMLデータ(HTML情報)の本文中のMETA文のCharsetのコードが何のコードであるかを認識することによって行われ、前記変換ルールに従って、Charsetのコードの書き換え処理を行うこととなる。

【0124】次に、全体のHTMLデータを取り込んだ後、キーワードとの比較を行う(S109)。次いで、キーワードをリンク情報に変更する(S110)。さらに、比較の結果、該当部分のリンク化する(S111)。

【0125】このように、S104からS111により、予め登録された固有データと、固有データに対応するリンク先のターゲットサーバー(第3の機器)のURL情報とを定義したtxtファイル(第1のファイル)の固有データを、取得された第1のデータの中から探し出し、固有データが抽出された場合には、固有データに対応する前記URL情報に基づいて固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンク化処理を行い、第2のHTML情報(第2のデータ)をユーザー端末(第1の機器)に対して送信するリンク化工程を実現できる。

【0126】なお、ユーザー端末側からみた処理では、キーワードリンクサーバー(第4の機器)に対して、第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行うようにアクセス要求を送信する工程を有する。そして、予め登録された前記固有データ

と、前記固有データに対応するリンク先の前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する関連サイトへのリンク化処理を行い、このリンク化処理された第2のデータを、前記第4の機器から受信する工程を有することとなる。

【0127】以上のように本実施の形態によれば、任意のホームページをユーザー端末より閲覧する際に、登録されたキーワードが表示されることで、アドレスリンクによる固有名詞の公式なwebページへの移動により、閲覧画面からダイレクトに公式サイトを表示でき、非公式なサイトを排除することも可能であり、ユーザーの情報閲覧の際の利便性が向上する。

【0128】また、地図画面内に、登録されたサイトの企業やイベント先などのアイコンを表示させる一方、アイコンには登録されたサイトへリンクが張られているので、地図と登録サイトに双方向性を有することで、アドレスリンクの登録サイトは、しかるべき権限のある者が登録申請し第三機関が認めた公式のサイトとして、サイト認証の機能を有することとなる。

【0129】また、同時に実際にそのものの位置を表示する地図への移動により、公式サイトと公式登録者の位置情報(地図)との連動で実在証明を視覚的にビジュアルにでき、リアル社会に存在する情報の責任所在の明確化によるサイトの信用度への貢献ができ、情報と位置との連動ができ、住所にマッチングした地図の画面を表示できる。

【0130】さらに、キーワードとして、企業名等を用いれば、公式サイトの広告としても利用でき、ユーザーは、HTML情報中にキーワードのあるホームページならば常時当該キーワードがリンクを意味する強調表示された状態で表示されるため、広告宣伝効果を高めることができる。

【0131】加えて、地図情報サイトにおいても、アイコンとして広告登録者、認証登録者の住所の対応該当地にも表示され、アイコンが広告登録者のURLとリンクされているために、地図サイトにおいても広告効果を促すことができる。

【0132】くわえて、新製品やイベントなどのように、一定期間のみ設置されたサイト専門とすることにより、広告として期間限定ワードの独占を促すことができ、さらには、電子認証としてオリジナルページの保障、固有名詞の独占などを促すことができる。

【0133】このように、企業名や商品・サービス名などを含むすべてのサイトに対してその企業名、商品、サービス名からそれらの広告宣伝のホームページへのリンクさせることが可能となる。従って、閲覧者がバナー広告やハイパーリンクにアクセスすることなく、情報を提

供するが可能となる意味で、企業に対してインターネットにおける新しい広告宣伝の方法を与えるものである（広告宣伝効果）。

【0134】また、ネットワーク上に存在するテキストすべてに含まれるその企業名から自動的にその企業のホームページへとリンクするように設定できるという特性を活かして、企業、団体、個人などのウェブサイトの所有者は、自己の商号、商標、サービスマーク、個人名などを第三者により不正に使用される危険性を減少させることができる（商標等の不正使用の予防）。

【0135】さらには、ある固有のデータ間のリンクが設定されると、ネットワーク上にあるすべてのテキスト中に含まれるその固有データに自動的にリンクが張られるという特性を活用すれば、検索エンジンを用いることやURLを直接入力するなどの手順が使わずに、必要な情報へアクセス可能となり、情報検索が容易となる（情報閲覧の利便性を高める方法）。

【0136】（広告宣伝方法）より詳細には、インターネット上で企業が、企業自身もしくは商品サービスに関して宣伝広告を行う場合、最大限の宣伝効果を得るためには、できるだけ多くの人々の目につくことが必要となる。

【0137】現在そのような宣伝・広告ページを多くの閲覧者に見せるための手段としては、多くの閲覧者が訪れるであろうポータルサイトなどのホームページにバナー広告や宣伝ページへのハイパーリンクなどを組み込むのが一般的である。これは、特定のウェブサイトを通じて広告宣伝を行うことになり、そのサイトの所有者の意思に基づいて宣伝広告の拒否や広告料の決定が行われている。

【0138】これに対して本実施の形態では、サイトの所有者の意思にかかわらず、任意の企業名や商品名などを通じて、広告宣伝等のウェブサイトへのリンクを張るものであり、ネットワーク上で特定の企業名等を含んでいれば、その企業の宣伝のページへとリンクが張られるため、閲覧者を自己のサイトに誘導することが可能となる。

【0139】つまり、ホームページ所有者の意思や閲覧数を要因として広告宣伝料等が決定される広告方法ではなく、その特定の語句を利用する利用する広告方法である。

【0140】また、企業名や個人の所有を主張できる語句や図形などではなく、一般的に使われる語句等であったとしても、その語句等からのリンクを張る権利を得ることにより、広告宣伝を行うことが可能となる。

【0141】（商標等の不正使用の予防）また、企業名や商品・サービス名などの固有名称または企業のロゴなどは、商標、サービスマークや意匠やデザインなどその知的財産権として登録することができる。その登録された商標等の固有名称をニュースや宣伝などで第三者が公

正に引用することについては問題ないが、権利者の許可なく登録された固有名称を用いて類似商品を販売したり、自己のサイトに他人の商標等を用いて自社のサイトが検索エンジンで検索順位の上位に位置することを意図したり、その商標等を関係のないアダルトサイトのような悪質なサイトへリンクさせたりなど、不正競争、商標権侵害または名誉毀損など多くの問題が指摘されている。

【0142】本実施の形態では、ネットワーク上にある任意の商標等を知的財産権者の認めるサイト、または公正に作成されたホームページにリンクするように設定することにより、当該商標等の正当な権利者であることを表明することもできる。

【0143】その商標等の引用だけでは商標権侵害にはあたらないが、少なくともその商標等からのリンク先を商標権者の権利を侵害しない先に設定することで、リンクを介しての商標権侵害や不正競争に対する抑止効果をもつ。

【0144】（情報閲覧の利便性を高める方法）さらに、インターネット上のホームページを閲覧しているが、テキスト中の特性の語句についてさらに詳しく知りたい場合に、その言葉をクリックすると、それに関する他のウェブサイトやテキスト中の異なる説明部分へと移動できれば、URLの直接入力や、検索エンジン等で情報を検索するのに比べ、情報検索が簡便となる。

【0145】しかしながら、現在のハイパーリンクという技術は、リンクの設定がテキストの作成者に委ねられているため、どの語句にリンクが貼られるかはテキストによって異なっている。また、リンクがまったく張られていない語句やテキストも数多く存在する。

【0146】これに対して本実施の形態では、ひとつの語句に対してそれに関するウェブサイトを登録すると、ネットワーク上のすべてのテキストに含まれるその語句にリンクが張られることになる。

【0147】そのため、ウェブサイトを閲覧する多くの人が、頻繁に検索をするであろう語句を登録すれば、ネットワーク上にあるすべてのその語句からそれに関するサイトへのリンクが張られ、検索が大幅に容易になる。

【0148】また、その語句からリンク先に移動する前に、それに関する複数の関連事項を一覧表で表示することにより、さらにその利便性を高めることが可能になる。

【0149】このように、ネットワーク上におけるハイパーリンクなどの現在のリンク方法に比べて、この技術によってもたらせられる現実のメリットは、第一に、インターネット上における広告宣伝の方法となること、第二に文字列又は図形などに含まれる知的財産権等を第三者が不正に使用することによる不正競争を抑止する手段となること、第三に、インターネットにおける情報閲覧者の利便性を高めることなどである。

【0150】なお、本発明にかかる装置と方法は、そのいくつかの特定の実施の形態に従って説明してきたが、当業者は本発明の主旨および範囲から逸脱することなく本発明の本文に記述した実施の形態に対して種々の変形が可能である。

【0151】例えば、上述の実施の形態のキーワードリンクシステム、それに用いるサーバー（ターゲットサーバー、キーワードリンクサーバー）、端末の各々において処理される各処理プログラム（例えばd11ファイル等）、説明された処理、データ（例えば、キーワード情報、URL情報、txtファイル、各種テーブル等）の全体もしくは各部を情報記録媒体に記録した構成であってもよい。さらに、上述の処理プログラムを、一般のパソコンや携帯端末で動作可能な電子メールソフトに組み込んだもの、あるいは組み込んだ電子メールソフトを記録した情報記録媒体も含む。

【0152】この情報記録媒体としては、例えばROM、RAM、フラッシュメモリ等の半導体メモリ並びに集積回路、光ディスク、光磁気ディスク、磁気記録媒体等を用いてよく、さらに、CD-ROM、ハードディスク、FD、DVD-RAM、DVD-ROM、MO、ZIP、磁気カード、磁気テープ、不揮発性メモリカード、ICカード等に記録して構成して用いてよい。

【0153】さらにまた、媒体の例としては、コンピュータと別のデバイスの間の無線又は赤外線送信チャンネル、コンピュータで読取可能なカード、例えばPCMCIAカード、別のコンピュータ又はネットワーク上のデバイスへのネットワーク接続、及び電子メール送信とウェブサイトその他に記録された情報を含むインターネットやイントラネットにて通信制御するために必要な各種処理プログラムの情報を含む。

【0154】この情報記録媒体を上記各実施の形態によるシステム以外の他のシステムあるいは装置で用い、そのシステムあるいはコンピュータがこの記憶媒体に格納されたプログラムコードを読み出し、実行することによっても、上記各実施の形態と同等の機能を実現できると共に、同等の効果を得ることができる。

【0155】また、コンピュータ上で稼働しているOS、サーバー、端末（携帯電話）上のRTOS等が処理の一部又は全部を行う場合、あるいは記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータ、情報処理装置に挿入された拡張機能ボードやコンピュータに接続された拡張機能ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づいて、上記拡張機能ボードや拡張機能ユニットに備わるCPU等が処理の一部又は全部を行う場合にも、上記実施の形態と同等の機能を実現できると共に、同等の効果を得ることができる。

【0156】具体的には、情報記録媒体は、ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも

一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能な第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンクを張る処理を行うものである。

【0157】この情報記録媒体は、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータを取得する処理を行なう情報と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンク化処理を行い、第2のデータを前記第1の機器に対して送信する処理を行なう情報と、を含む。

【0158】また、情報記録媒体は、前記第1の機器にて利用されるブラウザにおいて、前記第4の機器のIPアドレスをプロキシの設定として設定する処理を行なう情報を含む。さらに、前記リンク先のURL情報は、地図情報サイトの前記固有データに対応する対応該当地の周辺領域に相当する下位階層のアドレス情報まで有し、情報記録媒体は、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第1の機器の表示画面上に前記対応該当地の周辺領域の地図情報を表示させる処理を行なう情報を有する。

【0159】さらに、情報記録媒体は、前記対応該当地の周辺領域の地図情報上に、前記固有データを意味するアイコン情報を前記対応該当地に相当する位置に表示させる処理を行なう情報と、前記第1のデータ中の文字コードを認識し、複数種類の文字コードのうち特定のものの文字コード以外の他の文字コードが形成されている場合には、当該一の文字コードに変換する処理を行なう情報と、を含む。この際、前記固有データは、頻繁に検索される語句であることが好ましい。

【0160】また、他の態様の情報記録媒体は、ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能な第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される固有の文字情報または図形情報を含む固有データに

対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供するホームページへのリンクを張る処理を行うプログラムを記録したものである。

【0161】前記情報記録媒体は、前記第4の機器に対して、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得を行うようにアクセス要求を送信する処理を行なう情報と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する関連サイトへのリンク化処理を行い、このリンク化処理された第2のデータを、前記第4の機器から受信する処理を行なう情報と、を含む。

【0162】また、さらに他の態様では、ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能であり広告登録者が登録を行なう第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される前記広告登録者に関する固有の文字情報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供する広告登録者のホームページへのリンクを張る処理を行なうプログラムを記録したものである。

【0163】前記情報記録媒体は、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得する処理を行なう情報と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の広告登録者が提供する前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する前記広告登録者の提供する前記第3の機器のホームページへのリンク化処理を行い、第2のデータを前記第1の機器に対して送信する処理を行なう情報と、を含む。

【0164】さらに、情報記録媒体は、ユーザーが所望するホームページの閲覧を行なうための少なくとも一つの第1の機器と、前記ホームページを提供するための少なくとも一つの第2の機器及び又は複数の第3の機器と、前記第1の機器と前記第2、第3の機器との間で通信網を介して各々データ送受信可能であり権利者が登録を行なう第4の機器と、を有し、前記第4の機器を用いて、前記第2の機器が提供するホームページ中の前記第1の機器に表示される前記権利者に関する固有の文字情

報または図形情報を含む固有データに対して、前記固有データに関連する前記第3の機器が提供する権利者の公式ホームページへのリンクを張ることで公式サイトの認証を行なう処理を行なう。

【0165】前記情報記録媒体は、前記第1の機器からのアクセス要求に基づいて、前記第2の機器が提供するホームページに関する情報を含む第1のデータの取得する処理を行なう情報と、予め登録された前記固有データと、前記固有データに対応するリンク先の権利者が提供する前記第3の機器のURL情報とを定義した第1のファイルの前記固有データを、取得された前記第1のデータの中から探し出し、前記固有データが抽出された場合には、前記固有データに対応する前記URL情報に基づいて前記固有データに関連する前記権利者の提供する前記第3の機器の公式ホームページへのリンク化処理を行い、第2のデータを前記第1の機器に対して送信する処理を行なう情報と、を含む。

【0166】前記情報記録媒体は、第1の機器からの前記第2のデータのリンク化された前記固有データの操作指示により、地図情報サイトの前記固有データに対応する対応該当地の周辺領域に相当するURL情報に基づいて、前記第1の機器の表示画面上に前記対応該当地の周辺領域の地図情報上に、前記固有データを意味するアイコン情報を前記権利者の前記対応該当地に相当する位置に表示させる処理を行なう情報と、前記第1の機器からの前記アイコン情報の操作指示により、前記権利者が提供する前記第3の機器の前記公式ホームページを表示させる処理を行なう情報と、を含む。

【0167】また、上述の実施の形態では、設定手段35をサーバーにより設定登録する場合について説明したが、これに限らず、ユーザー端末からサーバーにアクセスすることにより所定の手順に従って登録できるように構成してもよい。

【0168】さらにまた、前記実施の形態では、キーワードなどの固有の文字情報に対してリンクを張る表示を行なう構成を説明したが、文字情報に限らず、図形情報、画像情報、音声情報等の固有データに対してリンクを張る構成であってもよい。

【0169】その際、図形情報として、例えば、特定の商標、サービスマーク、意匠、デザイン等を表示したアイコン等であってもよい。加えて、地図情報上に形成されるアイコンも、その団体等の商標、サービスマーク等で形成してもよい。

【0170】また、上述の実施の形態では、HTMLデータ（HTML情報、HTMLファイル）について例示したが、XMLなどの他の言語の場合であってもよく、さらには、HTTPプロトコルに限らず、他のプロトコルの場合であってもよい。

【0171】またさらに、上記実施の形態では、ターゲットサーバー上のサイトの第1のデータを、ユーザ端末

に表示する場合に、キーワードリンクサーバーなるサーバーを用いて、第1のデータ中の固有データに対して固有データに関連する関連サイト（他のターゲットサーバー等）へのリンクを張る構成としたが、ハードウェア上は、ターゲットサーバー、キーワードリンクサーバーなどが一つのサーバーとして構成される場合であってもよい。すなわち、サイト、関連サイト、本発明のプログラムが所定の階層に従って記述されていれば、そのハードウェア構成は問わない。

【0172】さらに、上記実施形態には種々の段階が含まれており、開示される複数の構成要件における適宜な組み合わせにより種々の発明が抽出され得る。つまり、上述の各実施の形態同士、あるいはそれらのいずれかと各変形例のいずれかとの組み合わせによる例をも含むことは言うまでもない。また、実施形態に示される全構成要件から幾つかの構成要件が削除された構成であってもよい。

【0173】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、第1のデータの閲覧者がその第1のデータに含まれる文字情報または図形情報などの固有データが表す内容に関する情報を知りたい場合に、そのような固有データにリンクが張られており、いかなる第1のデータであっても、第1のデータに含まれる任意の文字情報に対して、関連サイトの情報が関連付けられているので、閲覧者の情報検索は容易となり、利便性は大きく向上する。

【0174】つまり、任意のホームページをユーザー端末より閲覧する際に、登録された固有データが表示されることで、リンクによる固有名詞の公式なホームページへの移動により、閲覧画面からダイレクトに公式サイトを表示でき、非公式なサイトを排除することも可能であり、ユーザーの情報閲覧の際の利便性が向上する。

【0175】また、地図画面内に、登録されたサイトの企業やイベント先などのアイコン情報を表示させる一方、アイコン情報には登録されたサイトへリンクが張られているので、地図と登録サイトに双方向性を有することで、登録サイトは、しかるべき権限のある者が登録申請し第三機関が認めた公式のサイトとして、サイト認証の機能を有することとなる。

【0176】また、同時に実際にそのものの位置を表示する地図への移動により、公式サイトと公式登録者の位置情報（地図）との連動で実在証明を視覚的にビジュアルにでき、リアル社会に存在する情報の責任所在の明確化によるサイトの信用度への貢献ができ、情報と位置との連動ができ、住所にマッチングした地図の画面を表示できる。

【0177】さらに、固有データとして、企業名等を用いれば、公式サイトの広告としても利用でき、ユーザー

は、HTML情報中にキーワードのあるホームページならば常時当該キーワードがリンクを意味する強調表示された状態で表示されるため、広告宣伝効果を高めることができる。

【0178】このように、企業名や商品・サービス名などを含むすべてのサイトに、対してその企業名、商品、サービス名からそれらの広告宣伝のホームページへのリンクさせることが可能となる。従って、閲覧者がバナー広告やハイパーリンクにアクセスすることなく、情報を提供するが可能となる意味で、企業に対してインターネットにおける新しい広告宣伝の方法を与えるものである。

【0179】また、ネットワーク上に存在する第1のデータすべてに含まれるその企業名から自動的にその企業のホームページへとリンクするように設定できるという特性を活かして、企業、団体、個人などのウェブサイトの所有者は、自己の商号、商標、サービスマーク、個人名などを第三者により不正に使用される危険性を減少させることができる。

【0180】さらには、ある固有のデータ間のリンクが設定されると、ネットワーク上にあるすべての第1のデータ中に含まれるその固有データに自動的にリンクが張られるという特性を活用すれば、検索エンジンを用いることやURLを直接入力するなどの手順が使わずに、必要な情報へアクセス可能となり、情報検索が容易となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のキーワードリンクシステムの全体の概略構成を示す説明図である。

【図2】図1のシステムにおけるキーワードリンクサーバーの機能を説明するための機能ブロック図である。

【図3】図1のシステムにおけるユーザー端末に表示される表示画面の一例を示す説明図である。

【図4】図1のシステムにおけるキーワードリンクサーバーの機能の詳細を示す機能ブロック図である。

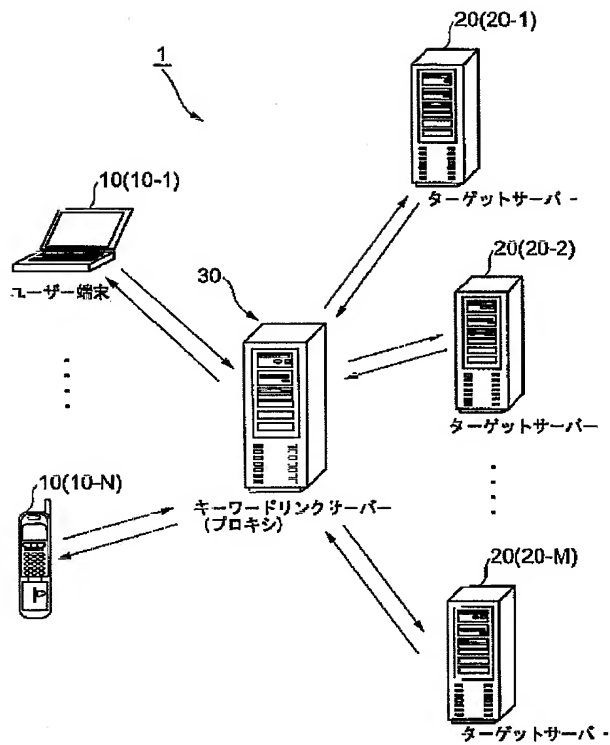
【図5】図1のシステムにおけるキーワードリンクサーバーの機能の詳細を示す機能ブロック図である。

【図6】本発明のキーワードリンクシステムにおけるキーワードリンクサーバーの処理手順の一例を示すフローチャートである。

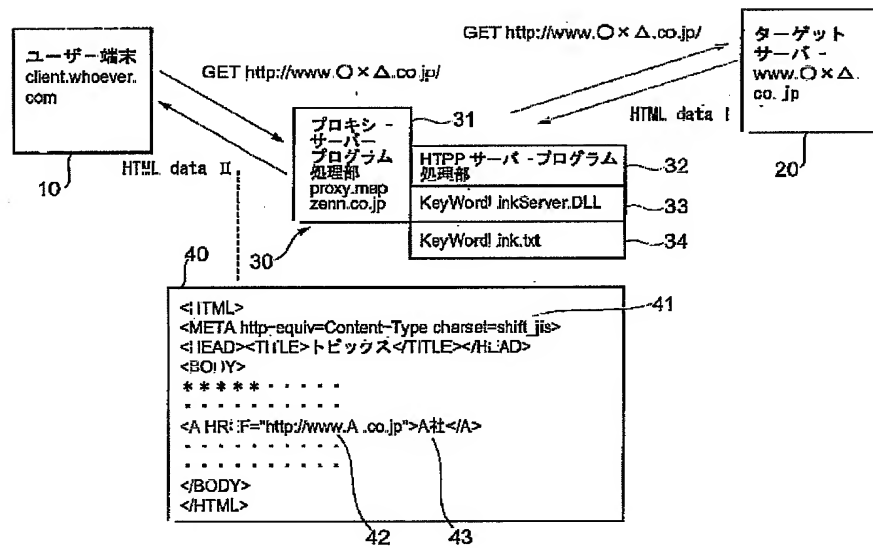
【符号の説明】

- 1 キーワードリンクシステム
- 10 ユーザー端末
- 20 ターゲットサーバー
- 30 キーワードリンクサーバー
- 33 d11ファイル
- 34 txファイル

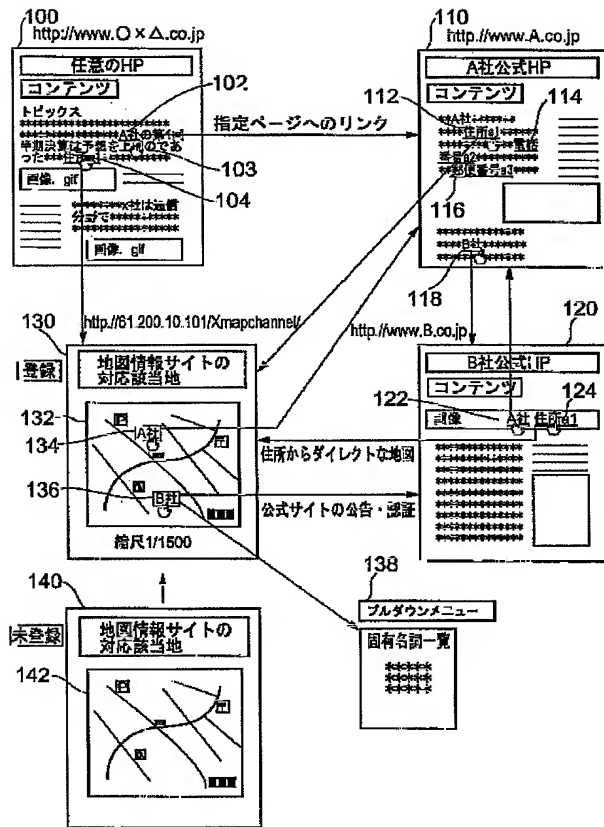
【図1】



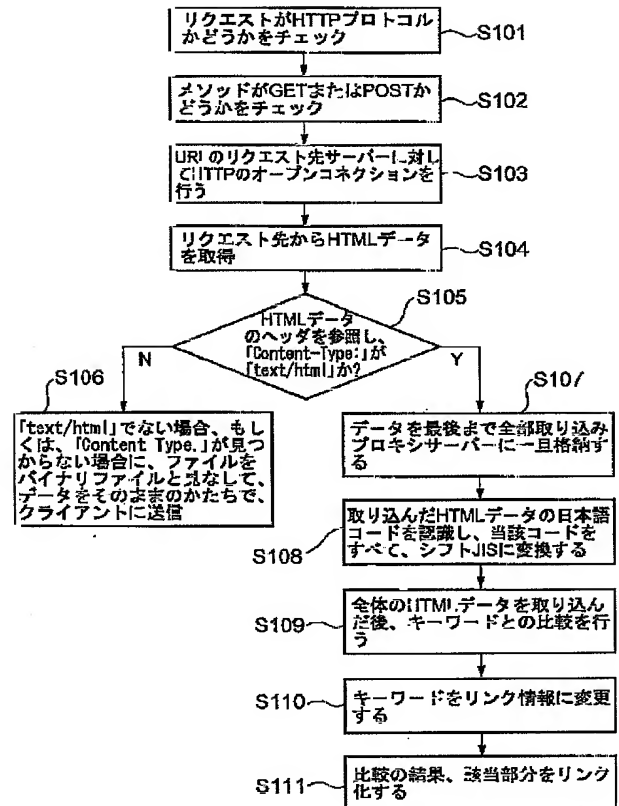
【図2】



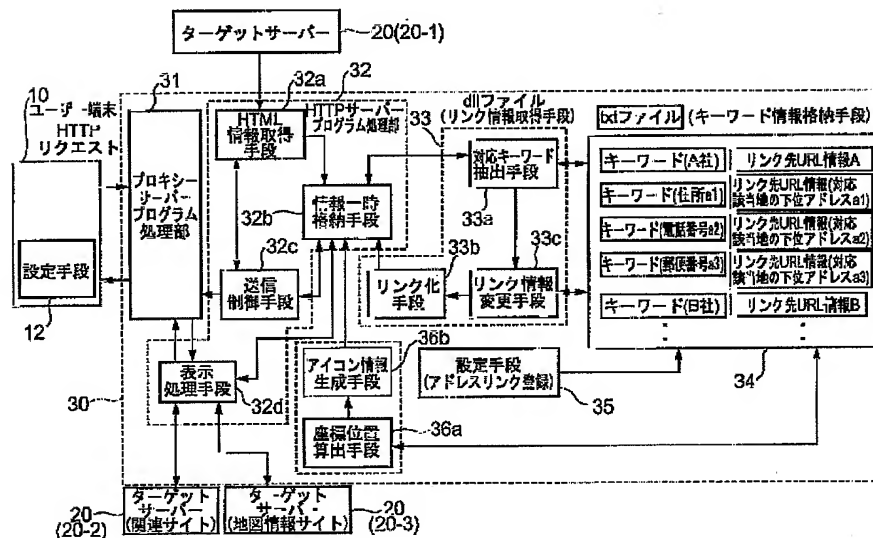
【図3】



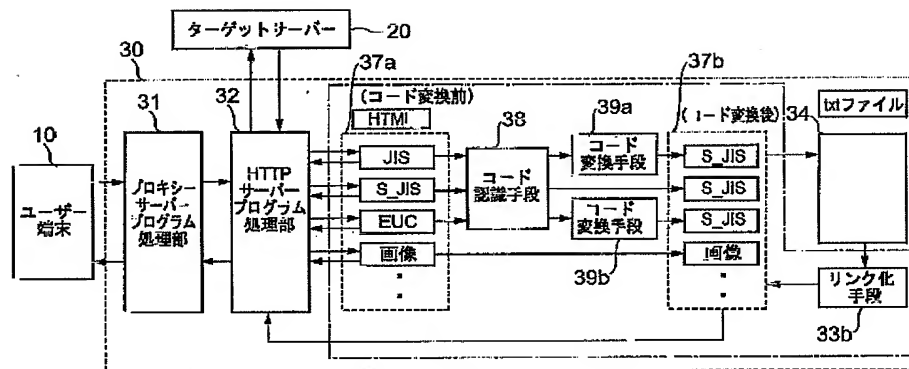
【図6】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	(参考)
G 0 6 F 17/60	1 4 4	G 0 6 F 17/60	1 4 4
	3 2 6		3 2 6
	5 0 4		5 0 4
G 0 9 F 19/00		G 0 9 F 19/00	Z